

ご挨拶

日本赤十字看護大学大学院 国際保健助産学 教授
井村 真澄

今回の学術集会のテーマは、「Breastfeeding for all ～北欧に学ぶみんなの母乳育児～」と致しました。いま、日本では男女共同参画をはじめ、女性が輝く社会づくり、通称女性活躍推進法「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（2015）」、「女性活躍加速のための重点方針（2016）」等が打ち出され、「子ども・子育て支援新制度」（2012）がさらに推進されようとしています。いまだ、女性が仕事をしながら子育てを行うこと、とりわけ母乳育児を行うことに対する環境や支援は十分とは言えません。この学術集会では、女性の高い就業率と高い母乳育児率を維持し、男女が共に育児をシェアし、若い赤ちゃんも、そして男性も女性も共に生きている北欧社会に学び、今後の日本が進むべき道と具体策を皆さまと共に創出できる機会にしたいと考えております。

さらに、日本赤十字看護大学の同敷地内にある日本赤十字社医療センターの周産母子・小児センターは、「赤ちゃんにやさしい病院 Baby Friendly Hospital」であるとともに、日本を代表するスーパー総合周産期センターであり、ハイリスク妊娠・分娩・産褥とハイリスク新生児に対する高度な治療を行っている施設でもあります。このようなハイリスクケースに対する専門家の叡智を集積した母乳育児支援についても、皆様とともに検討する機会となることを期待しております。

この学術集会の成果が、今後の日本の母乳育児のさらなる推進の契機となり、ひいては今後の未来ある赤ちゃんたち、父母、祖父母、地域社会全体の成熟と発展につながることを願っております。企画委員、実行委員一同、学術集会の開催に向けて心をこめて準備をすすめております。皆さまの積極的なご参加をお待ち申し上げます。

目次 —Index—

第 32 回日本母乳哺育学会・学術集会のご案内	1
会場へのアクセス	2
会場案内図	3
学術集会参加者の皆様へ	4
演者・座長の方へのご案内	8
プログラム一覧	11
プログラム	12
会長講演	17
招聘講演	19
基調講演	23
シンポジウム I	27
シンポジウム II	31
シンポジウム III	35
ワークショップ	39
教育委員会主催勉強会	41
ランチョンセミナー	49
一般演題（口演）9月16日（土）	53
一般演題（口演）9月17日（日）	59
一般演題（示説）9月17日（日）	65
企業広告	79
第 32 回母乳哺育学会学術集会 協賛企業一覧（50音順）	90

第 32 回日本母乳哺育学会・学術集会のご案内

会 長 井村 真澄(日本赤十字看護大学大学院国際保健助産学 教授)

会 期 平成 29 年 9 月 16 日 (土)・17 日 (日)

会 場 日本赤十字看護大学 広尾キャンパス 1 階 広尾ホール
〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3
TEL 03-3409-0875 (代)

評議員会 平成 29 年 9 月 16 日 (土) 12:10~13:00
日本赤十字看護大学 2 階 205 講義室

会員総会 平成 29 年 9 月 16 日 (土) 17:40~18:00

懇親会 平成 29 年 9 月 17 日 (日) 12:20~13:20
日本赤十字看護大学 1 階 クラナド (学生食堂)
参加費¥1,000

第 32 回日本母乳哺育学会事務局

日本赤十字看護大学内

担当：喜多里己・武市洋美・飯田千香子・柏木麻衣子・霜鳥知子

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3

TEL 03-3409-0875 (代) / FAX 03-3409-0589

e-mail ; bforall916@bonyu32.org

URL ; <https://www.bonyu32.org/>

プログラム一覧

【1日目】9月16日(土)		【2日目】9月17日(日)	
8:00		8:00	
8:30	8:30~ 受付開始	8:30	受付開始
9:00	開会の辞	9:00	一般演題【示説 P-1群~P-4群】 座長 P-1群:小曾根秀実(東都医療大学) P-2群:若菜宣明(東京農業大学) P-3群:金子美紀(聖路加国際病院) P-4群:鈴木恵子(日本赤十字社医療センター)
9:30	【教育委員会主催勉強会】 『母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の対応』	9:30	9:00~ 9:35
10:00	シンポジウム 「母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の鑑別」 演者:中村清吾(昭和大学) 「母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の予防」 演者:涌谷桐子(沖縄県立宮古病院) 「母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の対応」 演者:武市洋美 (前日本助産師会母乳育児支援業務基準特別委員会) 「ピンクリボン運動について」 演者:高木富美子 (認定NPO法人乳房健康研究会)	10:00	9:40~ 10:20 一般演題【口演Ⅱ O-2群】 座長:宮沢篤生(昭和大学) 重松環奈(日本赤十字社医療センター)
10:30	9:00~ 12:00	10:30	
11:00		11:00	【招聘講演】 「オキシトシン」 演者: Kerstin Uvnäs Moberg(カロリンスカ研究所) 座長:瀬川雅史(のえる小児科・母乳育児支援センター) 黒川寿美江(聖路加国際病院)
11:30		11:30	10:30~ 12:10
12:00		12:00	
12:30	12:05~ 13:00 【ランチョンセミナー】 「ディベロップメンタルケアと母乳育児支援」 演者:大城昌平(聖隷クリストファー大学) 森口紀子(愛仁会高槻病院) 座長:北村知宏(神栖済生会病院) 共催:ユニ・チャーム (広尾ホール)/ (評議員会:205講義室)	12:30	12:20~ 13:20 ランチ懇親会 (学生食堂:クラナド)
13:00		13:00	
13:30	13:10~ 13:40 【会長講演】 「Breastfeeding for all」 演者:井村真澄(日本赤十字看護大学) 座長:本間和弘(東京農業大学)	13:30	
14:00	14:00 【基調講演】 「日本人から見た福祉国家スウェーデンの人と社会」 演者:渡辺芳樹 (日本赤十字社常任理事・日本赤十字看護大学客員教授)	14:00	13:30~ 14:50 【シンポジウムⅡ】 「WHO/UNICEF 10か条とBFH」 シンポジスト: Olkunmi Balogun(成育医療研究センター) 中村和恵(国立病院機構岡山医療センター) 座長:中野隆(高山赤十字病院) 村田滋子(東京都立大塚病院)
14:30	13:40~ 15:40 【シンポジウムⅠ】 「北欧の子育て事情と母乳育児」 シンポジスト: Kerstin Uvnäs Moberg(カロリンスカ研究所) 高橋睦子(吉備国際大学)(20分) * 指定発言者(伊東優子 わこう助産院 助産師) 座長:井村真澄(日本赤十字看護大学) 黒川賀重(黒川産婦人科医院)	14:30	
15:00		15:00	【シンポジウムⅢ】 「ハイリスク妊産褥婦新生児の 母乳育児支援の現状と課題」 シンポジスト: 笠井靖代(日本赤十字社医療センター) 関和男(横浜市立大学附属総合周産期母子センター) 小林真衣(名古屋市立西部医療センター) 座長:安藤一道(日本赤十字社医療センター) 小松佐紀(愛育病院)
15:30		15:30	15:00~ 16:30
16:00	15:50~ 16:30 一般演題【口演Ⅰ O-1群】 座長:吉尾博之(旭川荘療育・医療センター) 中根直子(日本赤十字社医療センター)	16:00	
16:30		16:30	16:30~ 17:00 次期会長挨拶 閉会の辞
17:00	16:40~ 17:40 【ワークショップ】 『乳幼児用液体ミルク(仮称)の動向』 「乳幼児用液体ミルク(仮称)の規格基準の設定に向けて」 演者:近藤卓也(厚生労働省医薬・生活衛生局) 「乳幼児用液体ミルク(仮称)の最新の動き」 演者:本郷寛子(東京大学大学院博士課程) 座長:水野克己(昭和大学江東豊洲病院)	17:00	
17:30		17:30	
18:00	17:40~ 18:00 日本母乳哺育学会総会 (広尾ホール)	18:00	

プログラム

1日目 9月16日(土)

受付 8:30~

開会の辞

9:00~12:00 場所: 広尾ホール

教育委員会主催勉強会

『母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の対応』

「母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の鑑別」

演者: 中村 清吾 (昭和大学)

「母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の予防」

演者: 涌谷 桐子 (沖縄県立宮古病院)

「母乳育児中の女性に起こりうる乳房疾患の対応」

演者: 武市 洋美 (前日本助産師会母乳育児支援業務基準特別委員会)

「ピンクリボン運動について」

演者: 高木富美子 (認定NPO 法人乳房健康研究会)

休憩

12:00~13:10

ランチョンセミナー

12:05~13:00 場所: 広尾ホール

「ディベロップメンタルケアと母乳育児支援」

演者: 大城 昌平 (聖隷クリストファー大学)

森口 紀子 (愛仁会高槻病院)

座長: 北村 知宏 (神栖済生会病院)

共催: ユニ・チャーム

(評議員会; 12:10~13:00 於 205 講義室)

会長講演

13:10~13:40 場所: 広尾ホール

「みんなの母乳育児 Breastfeeding for all -オキシトシン優位な社会の構築-」

会長: 井村 真澄 (日本赤十字看護大学)

座長: 本間 和弘 (東京農業大学)

基調講演・シンポジウム I 13:40~15:40 場所: 広尾ホール

基調講演「日本人から見た福祉国家スウェーデンの人と社会」

演者: 渡辺 芳樹 (日本赤十字社常任理事・日本赤十字看護大学客員教授)

シンポジウム I 「北欧の子育て事情と母乳育児」

シンポジスト：Kerstin Uvnäs Moberg (カロリンスカ研究所)

高橋 睦子 (吉備国際大学)

指定発言者：伊東 優子 (わこう助産院)

座長：井村 真澄 (日本赤十字看護大学)

黒川 賀重 (黒川産婦人科医院)

休憩 15：40～15：50

一般演題 (口演 I) 15：50～16：30 場所：広尾ホール

O-1 群

座長：吉尾 博之 (旭川荘療育・医療センター)

中根 直子 (日本赤十字社医療センター)

O-1-1 母乳外来の支援による母乳育児継続の実態調査：記述疫学研究

永田 理恵 (公益財団法人 聖バルナバ病院)

O-1-2 BFH の看護スタッフが新生児に母乳代替品を補足する意思決定を規定する要因
—提示した事例へのケア選択理由の分析から—

瀬戸口 陽子 (聖マリア病院)

O-1-3 授乳支援必要度スコアリング導入の試み (第2報)

黒須 英雄 (独立行政法人国立病院機構京都医療センター)

O-1-4 褥婦の要望に沿った授乳支援の取り組み

津川 博美 (昭和大学横浜市北部病院、昭和大学保健医療学部 助産専攻科)

休憩 16：30～16：40

ワークショップ 16：40～17：40 場所：広尾ホール

『乳幼児用液体ミルク (仮称) の動向』

「乳幼児用液体ミルク (仮称) の規格基準の設定に向けて」

演者：近藤 卓也 (厚生労働省 医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部
基準審査課)

「乳幼児用液体ミルク (仮称) の最新の動き」

演者：本郷 寛子 (東京大学大学院博士課程)

座長：水野 克己 (昭和大学江東豊洲病院)

日本母乳哺育学会総会 17：40～18：00 場所：広尾ホール

企業展示・書籍販売 9：30～17：30

2日目 9月17日(日)

受付 8:30～

一般演題(示説) 9:00～9:35 場所:広尾ホール

P-1群～P-4群

P-1群 座長:小曾根秀実(東都医療大学)

P-1-1 産前から産後につなぐ母乳育児支援の効果と課題
～Birth Keeperとしての寄り添いから見えてきたもの～

梁 梨香 (はな助産院)

P-1-2 産後5日目の母乳分泌の実態と産科学的要因

中野ゆかり (もあな助産院)

P-1-3 母乳外来における助産師のコミュニケーション・スキルを用いた支援の実際

相沢絵里奈 (聖路加国際病院)

P-1-4 帝王切開分娩で児を出産した褥婦に対する母乳育児支援

糸川 愛子 (日本赤十字社医療センター)

P-2群 座長:若菜 宣明(東京農業大学)

P-2-1 産後うつ状態で市の支援センターから訪問した症例の経過と母乳栄養

吉野 和男 (吉野産婦人科医院)

P-2-2 多職種で取り組む当院の母乳育児支援「広報チーム」と、薬剤師の活動と
今後の課題

中川 友恵 (名古屋市立西部医療センター)

P-2-3 A病院GCUにおける母乳育児支援の実際

廣瀬 孝子 (日本赤十字社医療センター)

P-3群 座長:金子 美紀(聖路加国際病院)

P-3-1 授乳婦における緑茶の摂取状況調査

岩佐太一郎 (東京農業大学)

P-3-2 産学協同で開催する母乳育児支援20時間基礎セミナーの運用

中根 直子 (日本赤十字社医療センター)

P-3-3 分娩時に妊娠高血圧症候群(PIH)と診断された母親における母乳率からみた
現状調査

松田 咲野 (日本赤十字社医療センター)

- P-4 群 座長：鈴木 恵子（日本赤十字社医療センター）
- P-4-1 「赤ちゃんにやさしい病院（BFH）」に勤務経験のある女性医師に対する
母乳育児の実情および意識調査
井出 早苗（日本赤十字社医療センター）
- P-4-2 妊娠糖尿病の治療法の違いによる母乳率の調査
仁平 直子（東京都立大塚病院）
- P-4-3 Breast Milk Compositional Effects and Water Structure Changes by Oketani Breast
Massage
Martin Andersson（Foss Japan）

休憩 9：35～9：40

一般演題（口演Ⅱ） 9：40～10：20 場所：広尾ホール

O-2 群

- 座長：宮沢 篤生（昭和大学）
重松 環奈（日本赤十字社医療センター）
- O-2-1 当院における乳がん合併妊娠女性の特性と助産師の関わり
ー過去5年の傾向と今後の課題ー
田中 亜実（聖路加国際病院）
- O-2-2 Leveraging a mentorship approach for quality improvement of breastfeeding
counselling support in rural health facilities in Lao PDR
Helen Catton（Save the Children International, Laos）
- O-2-3 早期母子接触・頻回授乳と経皮的ビリルビン値の関連
山口 真侑（名古屋大学医学部保健学科）
- O-2-4 母乳分泌不全母体に対するナウゼリン投与に関する研究
須山 文緒（国立成育医療研究センター 周産期母性診療センター）

休憩 10：20～10：30

招聘講演 10：30～12：10 場所：広尾ホール

「オキシトシン」

- 演者：Kerstin Uvnäs Moberg（カロリンスカ研究所）
座長：瀬川 雅史（のえる小児科・母乳育児支援センター）
黒川寿美江（聖路加国際病院）

ランチ懇親会 12：20～13：20 場所：学生食堂クラナド

シンポジウムⅡ 13:30~14:50 場所: 広尾ホール

「WHO/UNICEF 10 か条と BFH」

シンポジスト: Olkunmi Balogun (成育医療研究センター)

中村 和恵 (国立病院機構岡山医療センター)

座長: 中野 隆 (高山赤十字病院)

村田 滋子 (東京都立大塚病院)

休憩 14:50~15:00

シンポジウムⅢ 15:00~16:30 場所: 広尾ホール

「ハイリスク妊産褥婦新生児の母乳育児支援の現状と課題」

シンポジスト: 笠井 靖代 (日本赤十字社医療センター)

関 和男 (横浜市立大学附属総合周産期母子センター)

小林 真衣 (名古屋市立西部医療センター)

座長: 安藤 一道 (日本赤十字社医療センター)

小松 佐紀 (愛育病院)

次期会長挨拶・閉会の辞 16:30~17:00

企業展示・書籍販売 9:00~15:00